

丸太橋 架け替え作業



特集 父から子へ

～ 森と共に育ち合う (パリス保育園) ～



テーブル・ベンチづくり



園長 阿部 彰 さん

パリス保育園では、やまがた緑環境税を活用して子ども達に森の持つ不思議な魅力（森のはたらき・森の恵み・四季の変化）を味わってもらい、森林環境などへの興味を促す木育の取組みを実践しています。この日は、父親作業ということで、園児のお父さん方で構成される「木工プロジェクトメンバー」の皆さんが集まり、園庭の老朽化した丸太橋の架け替えやテーブル・ベンチの制作などが行われました。園長先生からは、「皆さんからつくっていただいた作品に込めた愛情は、木のぬくもりのように子ども達に伝わると思います。今日感じたことを子ども達にお話してあげてください。」と呼びかけました。

～ お父さん達の感想 ～

- ・ふだん木に触れる機会が少ないので新鮮でした。
- ・仕事とは違う程よい疲れが心地よかったです。
- ・子ども達がどんな反応をするのか楽しみ。
- ・けがせず、いっぱい遊んでもらいたい。
- ・家でも何かつくってみようと思います。



これまで制作された木製玩具で遊ぶ子ども達。お父さん達もつくった甲斐があります。



講師となった 星川 一宏 さん
遊び工房プロジェクト [新庄市]

自然に親しみ自然と遊ぶ野外活動や、ものづくりを軸に世代間交流や社会教育活動を行っています。「子ども達が元気いっぱい遊びまわる姿を想像しながら、作業に取り組みました。これをきっかけに、森で育った木でものをつくることの楽しさを知ってもらうとともに、手作りしたものへの愛着を育み、自然の大切さや恵みを感じてもらえればうれしいです。」

(星川さん談)